



YouTube「ゆる言語学ラジオ 怪獣の名前はなぜギグゲゴなのか？ ソシユールVSソクラテス！【音象徴1】」にて、音象徴による、母音のイメージを説明中。(https://www.youtube.com/watch?v=kqM4K--Vyi4)

ゆる言語学ラジオ kotoba編

— 言語学への道、そしてハマりかた

堀元 見 (言語学素人)

水野太貴 (言語オタク)

現在の言語学人気は「ゆる言語学ラジオ」を抜きにしては語れない。YouTubeチャンネルの登録者数は約20万人、果てしない「言語沼」に多くのファンを日々、引きずり込んでいる。言語オタクで話し手の水野太貴、言語学素人で聞き手の堀元見が、言語学とは？ よりハマって楽しむ方法、萌えポイントなどを語る、「ゆる言語学ラジオ kotoba編」。

言語学と語学は違う？

堀元さんが水野さんにグイグイ引っ張られて、言語沼にハマっていった過程を知ることが、まったく言語学を知らない……、最近、言語学への興味がめばえた……、沼にハマりかけているが今後、さらにどうハマっていけばいいのか迷っている……、そういった人たちへの参考になるのではないかと思います。

最初、堀元さんの言語学へのイメージはどのようなものだったのでしょうか？

堀元 最初はいろいろな言葉の分析をしているのだからという漠然としたイメージしかもっていませんでした。なので、語学が堪能、何か国語にも通じた人たちの学問なんだろうなと。

水野 それ、困るんですよ。「言語学をやっている

ました」と言うと言語学の達人のように思われてしまうのが(笑)。

堀元 初めて会ったときも、水野さんがそう言っていた記憶があります(笑)。ですから、語学の上部に存在して、語学を極めた人が行き着く先の学問といったイメージでした。

水野 実際、言語学の研究をしている人は語学もやっていることがほとんどではあるんです。

——水野さんは語学方面はどのような……？
水野 苦手ですね。どちらかというとやりたくないタイプです。

堀元 twelve (12) のことをtwenteenと言いつ間違えをしているのを聞いたことがあります……。
水野 それでも、まだ英語は好きなんですけどね。英語以外の外国語も勉強しなきゃとは思いますが、ついつい後回しにしてしまいます。

——イギリスにいたことも。
水野 いるにはいましたが、それを留学と呼ぶなと周囲からは言われています。それぐらいの期間しか滞在していなかったの……。留学とは言わないほうがいいですね。

——言語学と聞くと、語学のことかなと思うのが一般的な反応なのでしょいか？

水野 言語の研究をしていると聞いて、語学以外は普通、思い浮かばないでしょう。ですよ、

堀元さん。

堀元 水野さんにも、じゃあ何を研究しているんですか？ となったんですよ。「ゲンゴガク」と聞いただけで、その内容までは伝わってこなかった。

水野 そう思います。

堀元 水野さんに会う前に、言語学者、黒田龍之助さんが書いた『はじめての言語学』(講談社現代新書)を読んだことがあったんです。タイトルは言語学ですが、世界のいろいろな言葉の話が入り口になっていて、おもしろく言語学の世界に入っていくことができる。

水野 著者はスラブ系の言語をはじめ語学にも堪能な方です。

堀元 『はじめての言語学』のイメージに引きずられていたのかもしれない。言語学者は語学にも堪能なんだという。

水野 言語学者のなかにはめちゃくちゃいろんな種類の人がいて、ひとりの言語学者の話を理解できたとしても、言語学の全体像はなかなかつかめない。

堀元 言語学に限らず、他の学問でもそうなんだと思います。本を一冊読むと、わかった気になるのですが、三冊読むと全然わかっていない



「ゆる言語学ラジオ」の世界を書籍化、活字で展開する『言語オタクが友だちに700日間語り続けて引きずり込んだ言語沼』(あさ出版)

YouTubeやPodcastで「ゆる言語学ラジオ」を始めて二年になります。二年間、話を聞いた結果、ざっくりですが、言語学が応用と理論にわかれるということはわかりました。対象がどんな事象であったとしても、理論サイドから追究する人と応用サイドから追究する人がいる。その意味では、言語学も物理学も同じなんだと思っ

水野 確かにそうですね。言語学では並行して進めることも多いのですが、どの学問でもデータを大量に集めてくる時期と、データが出揃ったところで分析を行う時期にわかれる。またはそれを繰り返すところがある。

タコは何を食べているのか？

水野 今、タコの本を読んでいるんです。タコ